

日本遺伝子細胞治療学会会員各位

2018年1月18日に東京慈恵医科大学講堂で開催されます第8回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラムについて御連絡いたします。本フォーラムは、遺伝病の遺伝子治療臨床研究に特化したフォーラムで日本における遺伝子治療の臨床応用の推進を目指しております。第8回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラムのテーマは、「先天代謝異常症の遺伝子治療臨床研究」としました。国内外の遺伝子治療の研究者と世界をリードする代表的な企業が参加いたします。特に、米国 NIH でメチルマロン酸血症の遺伝子治療研究を進めている Charles Venditti 先生、ゲノム編集を遺伝子治療に応用しているサンガモ社の遺伝子治療の臨床研究をムコ多糖症で実践しているミネソタ大学の Chester Whitley 先生、レンチウイルスベクターを用いた *ex vivo* 遺伝子治療臨床研究を推進している Simon Jones 先生、クラブ病や Batten 病の遺伝子治療の基礎的・臨床的研究を推進している Mark Sands 先生を招聘いたしました。また、副腎白質ジストロフィーの遺伝子治療臨床研究を米国で推進している Bluebird Bio 社の Gary Fortin 先生からは最新情報をご教示いただける予定です。また、例年このフォーラムでご挨拶をいただいている衆議院議員、厚生労働大臣の加藤勝信先生に今年もご挨拶をいただく予定です。遺伝病、特に先天代謝異常症の遺伝子治療臨床研究の最新情報を一日で習得できる絶好の機会ですので、皆さま、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

第8回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム登板世話人

国立成育医療研究センター臨床検査部 奥山虎之

<http://www.gt-forum.net/>